

大阪・関西万博
きょうとアクションプランVer. 3 (案)
フラッグシップアクション

【目指す姿】 京都駅から府内各地の多様な魅力を発信し、京都駅を玄関口として、府内各地への誘客を図る。

概要

- 京都駅周辺エリアを府域への玄関口として、府域の万博関連イベント等の情報を集約・案内することでスムーズに府域のイベント等に誘客するとともに、関連イベントを実施し、京都の文化や芸術に親しむ機会を創出する。

【実施内容】

- ・万博 関連情報や府域イベントの案内
- ・「大阪・関西万博きょうとアクションプラン」等のプロモーション
- ・京都駅周辺エリアにおける賑わい創出に向けたイベントやまちづくりの推進 など

実施主体

京都府、京都市、他民間事業者

実施場所

京都駅周辺エリア

実施時期

令和7年4月～10月

【問い合わせ窓口】京都府総合政策環境部

関連HP

<https://expokyoto.jp/>

その他

—



万博と京都を結ぶ

万博後の取組

万博を契機として、府内各地への更なる誘客に取り組むとともに、京都駅周辺一帯での文化芸術を基軸としたまちづくりを推進する。

【目指す姿】 日本茶の歴史を再認識し、お茶に親しむ府民が拡大するとともに、万博を契機に京都を訪れる人々をもてなし、京都のお茶の文化が広く世界に発信・注目される。

概要

- 京都の茶文化を支える茶人や茶商、茶の生産者から茶器や茶道具、茶菓子の職人までが一緒になって、府内各地でお茶に関する様々な事業を展開するとともに、万博を契機に京都を訪れるお客様をもてなす「お茶の博覧会」を開催
 想定会場：北野天満宮、二条城、京都岡崎エリアなど府内一円
 特徴：お茶の生産 工程の体験やお茶会等を通じて日本の心を学ぶ場を創出
- 万博会期中は、民間団体や市町村等が実施する各地のお茶をテーマとした取組を一体的にPRするとともに、美術館・博物館に呼びかけ、「京の茶道・茶業・茶文化」をテーマにした企画展を連携実施
 特徴：茶摘み、茶会、茶器作り、手揉み製茶、茶香服、抹茶の石臼挽きなどを府内の寺社仏閣や文化施設等で開催
- お茶を通じた国際交流やお茶をテーマに自由な発想で考えた取組を実施
 特徴：府内の小中高生が万博参加国とお茶を通じて交流したり、大学生がお茶に関する企画を自由に考えて実施

実施主体

京都府、きょうとまるごとお茶の博覧会実行委員会

【問い合わせ窓口】 京都府文化生活部文化政策室

実施場所

京都府内各地

実施時期

令和6年～

関連HP

現在作成に向け調整中

その他

—



万博後の取組

府内各地でお茶の文化に触れる取組を実施・広報し、府民をはじめ国内外の人々がお茶に親しむ機会を創出する。

【目指す姿】 ユネスコ無形文化遺産「和食」の発信と世界の食文化の交流の拠点となる京都

概要

世界の食文化との交流を通じて、新たな販路の開拓や誘客につながる様々な「食」関連イベントを開催

- 海外の料理人を招聘し、食をテーマにしたシンポジウムや和食の料理人とコラボした創作料理によるレセプション（万博出展国向け）などを開催
- 和食と世界の食を味わえる食の祭典を開催
- 友好提携州省や市町村の姉妹都市との郷土食・ご当地グルメを通じた交流イベントを実施
- 京都文化博物館で和食の歴史・文化を紹介
- ホテル等における万博開催国×京都産食材を使用した特別メニューの提供や、旬の食材と地域を掛け合わせた食のフェアを開催

実施主体

京都府等

【問い合わせ窓口】京都府商工労働観光部観光室

実施場所

京都府内各地

実施時期

令和7年4月から10月まで

関連HP

—



その他

—

万博後の取組

「京都＝食」のイメージづくりを通じて「京の食」のファンづくり拡大させ、新たな販路の開拓や食をテーマにした誘客に結びつけていく。

【目指す姿】 環境団体や大学、産業界など、多様な主体とのパートナーシップを生かし、脱炭素で持続可能な社会の実現をリードする環境先進地・京都

概要

- ・京都議定書誕生の地・京都において、同議定書発効20周年、創設15年の節目となる2025年に「KYOTO地球環境の殿堂」について、万博を機にスペシャルバージョンとして取組を実施
- ・万博テーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」のもと、京都1200年の歴史の中で培われた文化と多様な自然（いのち）の共存・調和による地球環境保全のレガシーについて、未来を担う新たな世代の探究を通じて、地球環境問題の根源は人間の文化の問題であることを再認識し、「環境日本学」を通じた人と地球の未来のあるべき姿を世界に発信
 - 国際会議
 - ▶過去の殿堂入り者等が「気候変動」や「生物・文化多様性」等のテーマごとに議論
 - ▶万博テーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」に通じる人と地球の未来のあるべき姿について提言
 - 未来会議
 - ▶国内外の高校生・大学生等が、京都1200年の歴史の中で守り、共存してきた文化と多様な自然との関係についてワークショップを通じて探究し、国際会議の未来への提言に反映

実施主体

KYOTO地球環境の殿堂運営協議会

【問い合わせ窓口】KYOTO地球環境の殿堂運営協議会
(事務局：京都府脱炭素社会推進課)

実施場所

国際会議：国立京都国際会館
未来会議：府内各所

実施時期

国際会議：9月、未来会議：4～9月

関連HP

<https://www.pref.kyoto.jp/earth-kyoto/>

その他

—



万博後の取組

今後の殿堂事業において、若者が文化と多様な自然の共存・調和について発表する機会を継続

【目指す姿】

社会課題解決を目指す起業家、投資家が世界中から集まり、社会実装につなげる「世界に伍するスタートアップ拠点」となっている京都

概要

- 万博を契機に世界からスタートアップ企業や投資家等を一層呼び込むため、スタートアップ・エコシステム「グローバル拠点都市」である大阪や神戸と連携し、万博開催期間中、京阪神の街中で交流会、商談会、ピッチコンテスト等を実施。その中核として、国際的の大型スタートアップイベント「IVS」を、内容を拡充して開催。

実施主体

IVS KYOTO実行委員会
(京都府・京都市・(株) Headline Japan)

実施場所

みやこめっせ、ロームシアター京都

実施時期

令和7年7月2日(水)～4日(金)

関連HP

<https://www.ivs.events/ja/2025>

【問い合わせ窓口】 京都府商工労働観光部産業振興課
京都市産業観光局産業イノベーション推進室



万博後の取組

万博以降も継続的に国内外のスタートアップ関係者が京阪神に集積し、活動いただけるよう、イベント参加者とスタートアップ、研究者、大企業等とのビジネスマッチングを実施し、共創プロジェクトの立ち上げ及び定着へと繋げる。

【目指す姿】

いにしえより、京都の文化や産業と深く関わり、地域をつないできた「川」をキーワードに、京都の魅力を再構築し、人を呼び込み、新たな交流と連携を生み出す京都

概 要

- 淀川舟運の復活を契機に、淀川沿川の自治体が連携し、淀川クルーズや電車マルシェ、沿川の観光スポット巡りなどからなる「淀川舟運フェスティバル」を令和7年5月頃に開催
(想定会場：京都市伏見区、宇治市、八幡市、久御山町 など)
- また、令和6年10月13日(日)には万博開幕6か月前に合わせて、淀川全域において、観光船の運航や水上アクティビティ、沿川自治体による様々なイベントなどが実施される「淀川クルーズFESTIVAL」を開催
(想定会場：京都市伏見区、宇治市、八幡市 など)
- 「京都の川」を通じて育まれてきた京都の文化や産業の歴史の奥深さを学ぶ機会や、川の恵みを味わうことができる料理、川を通じたアクティビティなどを体験できる観光コースを造成
(想定河川等：鴨川、宇治川、桂川、保津川、琵琶湖疏水、高瀬川、由良川、美山川など)

実施主体

京都府、流域市町等

【問い合わせ窓口】京都市商工労働観光部観光室

実施場所

京都府内各地

実施時期

令和6年10月から

関連HP

-



そ の 他

-

万博後の取組

府域の様々な河川に関わるコンテンツを活用したモデルコースやツアーの造成により、「京都の川」をテーマにした新たな観光コンテンツにより府域周遊客の増加に取り組んでいく。

【目指す姿】

けいはんな学研都市の魅力発信、オープンイノベーション拠点のさらなる発展 未来（シームレス）社会の共創と先端技術の社会実装の加速

概 要

- けいはんな学研都市の「今」を紹介し、「未来」を提案する4つのテーマのフェスティバルを開催
 - 「ロボット・アバター・ICT」：アバターチャレンジ（遠隔操作ロボットによるパレード・競技大会）の開催
 - 「ウェル・ビーイング」：ウェル・ビーイング祭典(シンポジウム、未来食レストラン、ティータイムコンサート)の開催
 - 「スタートアップ」：スタートアップによる課題解決型PoCの実施とショーケース化
 - 「サイエンス&アート」：科学と芸術の融合したフェスティバル（スマートシティエキスポ、R&Dフェア、木津川アート）の開催
- 「オープンラボ/テックツアー」を展開し、開発力の発信、地域交流促進、オープンイノベーション拠点の機能強化を図る
- 「きょうと国際学生サミット」を始めとする国際イベントの開催
- 住民・企業・海外との協働した集客イベントの開催
- 様々な分野、立場の人々が交流し、科学と文化や芸術の融合により新たな価値を生み出す場となるコモンズを創出

実施主体

けいはんな万博2025運営協議会

【問い合わせ窓口】(公財)関西文化学術研究都市推進機構

実施場所

けいはんな学研都市 等

実施時期

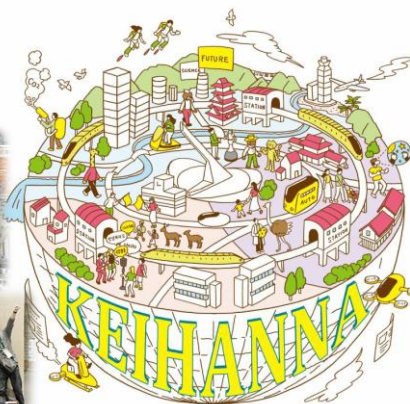
令和7年4月～10月

関連HP

<https://keihannaexpo.org/>

そ の 他

夢洲との緊密な連携／多言語による情報発信／
仮想空間の活用／学生・子ども・住民の参加



万博後の取組

万博を契機に開催するけいはんな万博の取組を通して、けいはんな学研都市のステージアップを図り、大阪・関西万博の成果を実装する「ポスト万博シティ」を推進するとともに、2026年度から始まる新たなステージプランの実現を推進。

【目指す姿】 音楽を通じて世代を超えた人と人の繋がりを育み、地域活性化や経済成長に繋げるとともに、京都を舞台に音楽による国際交流の機会を創出

概要

- 音楽家をはじめ、音楽家を夢見るこどもや若者などが集まり交流する等、音楽が日常にあり、あらゆるジャンルの音が融合し京都中を彩る音楽祭を実施
- 令和6年度は、プレイベントとして、クラシックコンサート等を実施
 - ・ 国内外で活躍する音楽家による室内楽コンサート（府内5地域（8会場））
 - ・ 室内楽コンサートの出演者を中心とした音楽家が、府内小中学校等を訪問し、鑑賞体験や楽器指導を行う

実施主体

京都府、Music Fusion in Kyoto 音楽祭実行委員会

実施場所

京都府内各地

【問い合わせ窓口】 京都府文化生活部文化政策室

実施時期

令和6年～

関連HP

<https://music-fusion.kyoto/>



その他

—

万博後の取組

府内各地域のニーズに沿った音楽事業を展開し、府民に愛される音楽祭とする

【目指す姿】 植物園とメディアアートを掛け合わせた、京都の新たな夜の文化観光コンテンツを世界に発信

概要

- 京都府立植物園で、最新テクノロジーを活用したメディアアートのインスタレーションを実施。
- インスタレーションは、日本人が大切にしてきた自然への敬愛を表したメッセージが込められており、日本文化の魅力を発信するとともに、作品を通じて子ども達にも分かりやすい形で植物や生物多様性への興味・関心の向上も図る

実施主体

京都府・京都府立植物園アートナイトウォーク実行委員会

実施場所

京都府立植物園（京都市）

実施時期

—

関連HP

<https://www.lightcycles-kyoto.com/>

その他

府立植物園100周年記念事業として令和6年10月18日～12月26日の間も実施

【問い合わせ窓口】

京都府立植物園アートナイトウォーク実行委員会
(事務局：京都府文化生活部文化芸術課)



万博後の取組

- ・本事業により、植物園の位置する北山エリアに誘客し、京都の夜間観光エリアとして、定着を図る。
- ・デジタルアート体験を通じて次代を担う子ども達や若者に植物や生物多様性への興味・関心の向上を図り、植物園の魅力を拡大する。

【目指す姿】

マンガ・アニメ・ゲームなどのメディア芸術の強みを活かした取組

概 要

- 西日本最大規模のマンガ・アニメの総合見本市「京都国際マンガ・アニメフェア」を万博期間中に実施。
- 京都市内企業等と連携した伝統産業とマンガ・アニメ・ゲームなどのメディア芸術とのコラボ商品の開発・販売等による、観光客誘客やビジネスマッチングの増加を図る。
 想定会場：みやこめっせ、ロームシアター京都ほか京都市内各地
 実施時期：9月を中心に年間を通じ実施

実施主体

京都国際マンガ・アニメフェア実行委員会、京都市

【問い合わせ窓口】

京都市産業観光局クリエイティブ産業振興室

実施場所

みやこめっせ他市内全域

実施時期

毎年9月3週目を中心に年間を通じて開催

関連HP

<https://kyomaf.kyoto/>

そ の 他

—



万博後の取組

国内外で認知されているマンガ・アニメイベントとしての京まふを目指す。

【目指す姿】 京都の多様な「食」を味わってもらえる、「食」の魅力あふれる京都

概 要

- 「ほんまもんの京都料理」を味わってもらえる、食の魅力あふれる京都を目指し、以下の取組を推進する。
 - ・京都レストランスペシャルの開催（京都産食材を使用した特別メニューの提供等）
 - ・食の関係団体と連携した事業の開催
- 万博後は京都の多様な「食」の魅力を発信し、「食の京都」をさらに推進していく。

実施主体

京都市、京都市観光協会等

【問い合わせ窓口】京都市産業観光局観光MICE推進室

実施場所

京都府内

実施時期

一部実施中

関連HP

—



そ の 他

—

万博後の取組

京都の多様な「食」の魅力を発信し、「食の京都」をさらに推進していく。